

県内中小企業・小規模企業の展示会出展による販路開拓支援 2025年4月～2026年3月実施予定 (神奈川産業振興センター)

＜事業計画申請時＞

【課題】

県内中小企業等への支援の中で、経営者等から下記について現状と今後を不安視する声が高まっている。

- ・物価高騰と価格転嫁
- ・県内人口減少と人手不足
- ・県内経済の活力低下懸念
- ・新規販路開拓と売上拡大
- ・DX・脱炭素化への対応



【目的】

中小企業等が抱える上記の現状の課題に対し、今回の事業では、新規販路開拓による売上拡大を目的とした、海外展示会への出展助成と、当センターでの小間確保による中小企業等への展示会出展支援等を実施する。



【都道府県の施策との連携・親和性】

県中小企業・小規模企業活性化推進計画＜第4期＞では、中柱に以下の項目が挙げられている。

- ・県内企業の海外展開支援や海外との経済交流の促進
- ・需要を見据えた販路開拓支援

【本事業の内容】

a) 海外展示会出展助成

海外で開催される展示会や海外販路開拓を目的としたオンライン展示会に出展する際に必要な出展料、通訳費用などの経費の一部を助成する。

b) 食品関連商談会の開催

県内中小食品関連企業に対し、県内外のバイヤーを招致する商談会を開催し、新たな販路開拓機会を提供する。

c) メッセナゴヤ2025出展

中部地区で開催される国内最大級の異業種交流イベントである本展示会に出展し、県内中小製造業の県外販路開拓を支援する。

d) FOOD EX JAPAN2026出展

アジア最大級の食品・飲料展である本展示会に出展し、県内中小食品関連企業の海外展開を支援する。

【結果ならびに成果の目標】

支援企業の新規販路開拓・売上拡大を見込む。成果目標は支援企業数・商談件数・成約件数とし、各々以下とする。

- a) 21社・700件・15件
- b) 95社・125件・20件
- c) 6社・60件・6件
- d) 10社・100件・10件



【波及効果の目標】

展示会出展による支援企業の新規販路開拓が売上拡大や生産性向上、経営力向上につながるほか、展示製品や技術は他の県内企業との取引によるものが多く、広く県内経済への波及効果も期待される。



【将来の支援目標】

・支援企業の業績アップによる、従業員の賃上げを通じた県内消費の拡大から県内経済の好循環の実現を目指す。

・支援企業を成功事例に、県内中小企業等に向けた新たな支援企業の掘り起しに取り組む。